

青森家庭少年問題研究会では、25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生を対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉社会の協力を得て、ひとり親家庭の子どもたち9人を対象に、ボランティア登録してくれた県立保健大学の学生さんなどが、子どもたちの学習進度に合わせて1対1を原則に勉強を教えています。

■コロナ禍での活動について

新型コロナ感染症の流行で、3月28日から5月2日までの6回、集合しての学習支援は中断となりました。子どもたちの生活リズムを確保するため、可能な限り実施を継続したいと考えていたのですが、市内小・中学校が休校となり、子どもたちの不要不急の外出が自粛となったほか、これまで利用してた市内の会場が貸出中止となつたこと、また、大学生のサークル活動も自粛となつたことから、実質的に集まって活動することが困難となりました。

この間、前回お伝えした沖縄女子短大上原先生の視察の受け入れ、学生とスタッフによる年間行事計画の作成、新大学生へのオリエンテーションを実施したほか、学習支援活動として、大学生から希望する子どもの自宅に電話を掛けて、家庭での学習の様子を確認するなど支援を行いました。

5月9日からは、普段どおりの活動を再開しました。この間、自宅で着々と勉強していた子、ほとんどできなかつた子、外出自粛で鬱々とした気分だった子など、さまざまでしたが、みんな学生さんと再会できて、ほっとした様子でした。

これからは、子ども・学生・スタッフとも、①毎朝の検温、②首都圏への旅行後は2週間の活動自粛、③学習前、おやつ前の

手洗い、テーブル等の清拭、定期的な換気や空気清浄機の使用など、感染防止対策に努めていきます。

■県共募などから助成をいただきました

このたび、新型コロナウイルス感染症下での子どもたち等への支援事業として、青森県共同募金会から10万円の助成金をいただきました。募金された県民の皆様に厚くお礼申し上げます。

助成金は、マスク、ハンドジェル、非接触型体温計、空気清浄機、パーティションの購入に充てさせていただいたほか、5月30日には、講師を招いて、学生さんと子どもたちで手作りマスクを制作しました。

そのほか、この間、市内の法華寺さんからは、母子会を通じ、おやつのほかアルコールティッシュ等の寄贈を受けました。心から感謝申し上げます。



● 子どもたちの学習参考書や教材の費用などに充てるため、寄付をお願いしています。（青森家庭少年問題研究会）個人:1口1,000円 団体:1口3,000円
次の口座あて、振込をお願いします。

【学習支援への寄付専用口座】

ゆうちょ銀行 記号18430 番号14001971

加入者名 最上和幸

⇒他金融機関からの振込の場合

【店名】八四八(ハチヨンハチ) 【店番】848

【預金種目】普通預金 【口座番号】1400197